

## 金山町町制施行100周年記念事業案が決定！ 第2回実行委員会を開催しました。



11月27日に第2回町制施行100周年記念事業実行委員会を開催し、ロゴマーク、記念映像、イベント案などについて意見交換をしました。実行委員会の資料や議事録は町HPに随時掲載します。

### 主な事業案を紹介します！

- ①記念式典・祝賀会・・・式典は金山中学校体育館、祝賀会は農村環境改善センター
  - ②記念映像・・・「金山の道。百年の光。」(株)アドビューロが制作。町の美しさや過去の映像とともに町民参加型の映像にアニメーションを重ねます。フジロックフェス出演の北村路さんと有名アーティストのMV作品を手がける制作チーム「cobne (コブネ)」が映像を盛り上げます。
  - ③記念誌・・・町の歩み、昔の写真、町民メッセージ、町の魅力等
  - ④記念品・・・全戸配付を予定している記念品は、記念誌、防災情報配信タブレット、多年草の花苗&ポット
  - ⑤記念イベント・・・音楽フェス、デジタルアトラクションイベント、100周年記念花火、景観100選、芸術祭、プロジェクションマッピングなど！既存イベントの充実に加え、新事業の展開で町制施行100周年記念を盛り上げます！
- 【問合せ】 総務課 総務係 ☎29-5600



## 金山町町制施行100周年記念事業

記念式典は令和6年10月5日(土)  
金山中学校体育館で開催

【キャッチフレーズ】

# 悠久の四季めぐる金山町

### ロゴマーク&キャッチフレーズが決定！

#### ロゴマークはホシカワデザイン星川忠平さんに決定

【作成者】 ホシカワデザイン 星川 忠平 さん

【作品説明】

金山町を象徴するさまざまな要素を組み合わせ、「100」の文字の中に盛り込んだ。100年のお祝いにふさわしい華やかさと賑やかさを表現。

#### キャッチフレーズは佐藤拓也さん(金山町)に決定

【作成者】 金山町 佐藤 拓也 さん

【作品説明】

久しい過去に始まって、変わらず続き100周年の歳月を経てまたもとにもどる四季折々の町を表現。

### ご応募いただいた中から実施する事業はこちら！

たくさんのご提案の中から実施予定の事業を紹介します。今後、追加や変更になる場合もありますので詳細はHPをご覧ください。なお抽選による応募者への商品券プレゼントは発送をもって代えさせていただきます。

「音楽フェス」「100年先へ繋げる打ち水プロジェクト」「まちの絵・写真コンテスト」「みずぎ荘納涼祭」  
「大綱引き大会」「町民温泉手形の発行」「絵画展」「歴史講演会」「写真集(記念誌)」「記念ソング」「記念Tシャツ」等

## DX推進事業 「デジタルを使い、生活をより便利に」

### デジタルの力で 「あそびに、かえる」

金山町のDX推進事業は、「デジタルの力によって、町民の皆さんの生活がより幸福なものに変わること」を目的としています。スマートフォンやネット通販などのデジタル技術は、電気や水道を使うように、生活の中であたりまえになりつつあります。町が目指すDXの現在の計画についてお知らせします。町のDX推進事業のコンセプトは、「あそびに、かえる」。この「あそび」には楽しさ、ゆとりや余裕という意味を、そして「かえる」には、より良い方向へ「変える」、今までの豊かな暮らしはそのままに新しいものへ「置き換える」、町外から「帰りたくなる」といった複数の意味を込めています。

#### 【生活のDX】

“デジタル技術でより「便利」に、「元気」に”

【取組例】

- ▶産業の活性化や所得向上
- ▶福祉や高齢者支援
- ▶教育環境の充実
- ▶スクールパスの予約システム
- ▶防災情報配信タブレット全戸配付事業

#### 【役場のDX】

事務の効率化で対面サービスを充実、ワンストップ窓口やペーパーレス化を推進

【取組例】

- ▶チャットツールの導入、電子契約、電子決裁などにより効率化し、生まれた労力で対面サービスを充実
- ▶チャットツールの導入により、紙の閲覧物を減らし情報共有までの時間を「数日」から「秒単位」に改善しました！これは1,000万円相当の省力化に値すると試算しています。

## 防災情報をより早く！確実に！

### 情報伝達を紙から防災情報アプリ(タブレット)へ

防災情報をより早く確実にお伝えするため、令和6年度に原則全戸へ防災情報アプリを搭載したタブレット配付を計画しています。災害時のリアルタイムでの情報共有はもちろんですが、現在の印刷物の閲覧をデータでお届けすることができるようになります。

また、地区内の連絡手段としても活用できるように計画中です。

### 現在の計画内容はこちらです！

- 現在、町の放送でお知らせしている内容や閲覧物をデータでお届けすることができます。
- タブレットは町民の方へ「無償でお貸しする」こととなります。Wi-Fi環境がないご家庭など一部の世帯については通信機器も一緒に配付します。
- お持ちの携帯電話にも同じアプリを入れることができるため、家にいなくても同じ情報が受け取れます。遠くに住んでいるご家族も登録できます。
- 災害時など、現場写真や地図で具体的な状況把握が可能となります。
- 今後、各ご家庭のWi-Fi環境等に関するアンケート調査を実施予定です。

### 高齢者の皆さんを手厚くサポート！

タブレットの操作に限らず、高齢者の皆さんへのサポートは役場だけでなく、地域、関係団体など、全町でフォローしていきます。デジタル技術を使えるようになることで、生活がより便利に！